シルバー 四国中央

第35号
令和3年8月

刃物研ぎサークルの皆さんと作業風景

表紙に寄せて

シルバー人材センターを取り巻く環境は時代と共に変化してきました。しかし、高年齢者の就業活動は勿論大切ですし、設立当初より変わらず生きがいの充実を図ることに重きを置くことが、求められ続けています。

料理包丁や剪定ばさみ、裁ちばさみなど切れ味の落ちた刃物をメンバーの技量で鮮やかに復活させ、「良く切れるようになった」と喜んでいただくのがなにより嬉しくて、「また、持ってきた」とリピーターもありがたいとのことです。

刃物研ぎは経験が必要ですが、サークル発足には、メンバー全員が高知県須崎市の伝統工芸士などの元に赴き研修を重ね、また新居浜シルバー人材センターに出向き研鑽を積むなど、様々な苦労のかいあって和気あいあいの雰囲気の中、先輩メンバーから技能習得のアドバイスをもらえたり、日常生活での色々な情報交換が楽しいと表情を和ませます。

この様に「生きがいづくり」を支える原動力となっている活動の一端が、サークル活動です。現在8サークルがそれぞれの生きがいの場として自主活動し、シルバー人材センターの目的である「活力ある地域社会づくり」に笑顔で応えています。

令和3年度 定時総会開催

令和3年度定時総会は、6月10日シルバー人材センター本部において会員14名と委任状73一通の出席を得て、午前10時30分より開催されました。

昨年から続く新型コロナの感染拡大防止対策のため、マスク着用、検温、手指消毒及び会場内の換気などを実施し、密集を避けて昨年度と同様に規模を極力縮小して行いました。

司会進行は事務局により進められ、理事長挨拶に続いて、残念ながら今年度も来賓のご臨席もご遠慮願いましたが、

四国中央市長　篠原　実
四国中央市議会議長　吉田善三郎
愛媛県議会議員　森高　康行
愛媛県議会議員　鈴木　俊広

各氏より温かいメッセージをいただき、さらに愛媛県シルバー人材センター連合会より祝電をいただき披露されました。

次に、総会議長に大西綾夫会員を選出し議事に入りました。

○報告第1号
令和2年度収支補正予算について
○第1号議案
令和2年度事業報告の承認について
○第2号議案
令和2年度決算の承認について
○報告第2号
令和3年度事業計画について
○報告第3号
令和3年度収支予算について
○第3号議案
公益社団法人四国中央市シルバー人材センター定款の一部改正の承認について

それぞれ事務局からの説明の後、審議が行われ、結果、すべての案件が異議なく原案の通り可決承認され定時総会は終了いたしました。

2年続いて定時総会が縮小開催となりましたが、来年度は皆さんのワクチン接種や感染拡大防止対策に協力いただき、新型コロナ禍が解消され通常開催が出来ることを心より願っております。

理事長挨拶

薦田　敏良

令和3年度の定時総会は、コロナ感染予防のため縮小しての開催となりましたが、事業計画など全議案をご承認いただきました。

この4月1日、「高年齢者雇用安定法」の法律改正により、企業で働く人の定年年齢や再雇用等が、「努力義務」として70歳までに変更されました。併せて、70歳までの間、雇用主は「高年齢者就業確保措置」を講じ、直接雇用しない場合には、何らかの仕事を紹介し確保するよう定められました。これを受けて、高齢者の働き方や雇用環境が、今後大きく変化すると考えられます。

私たちは、多くの先輩の方々が築き上げてきた、「高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図り、活力ある地域社会づくりに貢献する」高い志を堅持し、「高齢者にふさわしい健康で多様な働き方の実現」をめざします。そのために、地域において頼りにされる、大きくしっかりとした組織づくりに、すべての会員、役職員一丸となって全力を挙げて取り組んでいく所存であります。

市民の皆様や行政の方々には、さらなるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

シルバー人材センター表彰者紹介

6月10日、令和3年度シルバー人材センター表彰が、定時総会開催前に行われました。

表彰規程に基づき、センターの振興発展に寄与又は尽力し、その功績が顕著なものから、それぞれの表彰状、感謝状の授与と記念品の贈呈を行いました。

（五十音順・敬称省略）

◎センター功労賞

篠原　繁雄
鈴木美恵子

◎永年功労賞

安藤　仁一
大西　仁
河村　健一
近藤　恭央
進藤ヒサ子
高橋小枝子
高橋　沢子
尾藤　洋子
好井　慶三
吉本　清

◎感謝状

イトマン株式会社
株式会社コスモス

おめでとうございます。

剪定講習会開催

シルバーの主要な就業としての剪定は、会員の健康面や高齢などで発注に追いつけず、担い手不足が近年深刻な状態が続いています。遅まきではありますが、今年3月22日から23日の2日間、剪定班の班長や班員2名に講師を依頼し座学や実技講習を開催しました。応募者23名が3班に分かれて、川之江城などで実技講習が行われました。熱心に講師の実演を注視したり、積極的な質問が出たりと、次の剪定班の担い手の育成につながりました。

剪定の基本座学

今年度も剪定講習会を予定していますので、少しでも興味のある方の受講をお待ちしております。

川之江城で雑木の剪定実技

川之江城で松の剪定実技

発注者さん・会員さんにインタビューしました！

イトマン株式会社

課長　馬場口さん
主任　緒方さん

勤務中のお忙しい中、時間を割いていただき課長の馬場口さんと主任の緒方さんにお話を伺いました。

作業内容は、溶けにくい紙を溶かすための薬品を入れながら1時間40分程度かけ攪拌し、完全に溶けるのを確認する仕事。その見きわめが大事だそうです。

夏場は工場内の温度上昇防止のため屋根に遮熱塗料を塗るなど対策はしているけれど、熱中症の危険性もあるので安全確認のためモニターを設置してくださったそうです。

会員同士のコミュニケーションがとれてうまく回っており、安心して任せられ、礼儀正しくよく気がついて頼もしい存在だ、とお褒めの言葉をいただきました。

イトマン株式会社（派遣業務）

会員　篠原　清文さん

シルバーに入会してまもなく就業。仕事内容は、製造工程で発生する損紙をバルバーに投入し、完全に煮溶かし元の原料にリサイクルする過程を担当。1人で行うので作業管理には気を配っているそうです。

勤務形態は3人1組で、週3日から4日程度の交代勤務で、用事のある時は、シルバーの仲間と連携をとり、業務に支障がないよう助け合っているとのこと。

現場は空調設備がないため、自分自身で日頃から体力をつけ、元気で働けるよう体調管理をしながら作業しています、と優しい笑顔で答えてくれました。

今日も、元気に就業しています！

教育委員会生涯学習課 川之江ふれあい交流センター

所長　吉岡　智之さん

市の管理施設である川之江ふれあい交流センターは、夜間と休日に施設の受付や管理業務を、また川之江ふれあいパークでは清掃作業等をシルバー会員が交代で遂行している場所です。

会員の仕事ぶりを伺うと、「川之江ふれあい交流センターは、公民館、児童館、老人憩いの家等の機能を集約した施設となっており、利用者が幼児から高齢者まで幅広い年代であるため、様々な問題が発生します。また、川之江ふれあいパークオープン後は利用者が急増し、忙しくなっておりますが、市が望む以上に業務をこなされている」と感謝の言葉をいただきました。

「これからも現状維持にて元気に頑張って欲しい」と、公務でご多忙の中、お話をしてくださいました。

川之江ふれあいパーク

会員　竹本　敬三さん

開設してまだ3ヶ月の6月上旬、たくさんの親子で賑わう川之江ふれあい交流センター内のふれあいパークでお話を伺いました。

竹本さんは、3年前交流センターが開館して以来施設管理に携わってきましたが、今回、パーク増設を機会に、遊具などのある遊び場も含めて管理することになりました。

今は来場者と触れ合う機会が増えて、子供連れの方から「この遊び場に来るようになって、子供が夜ぐっすり眠るようになった」など、仕事の励みになるような言葉が聴けるようになった、と笑顔で話してくださいました。

竹本さんから、「遊び場には、子供達に人気のある『ふわふわドーム』や『様々なパターンで水が飛び出す噴水』もあります。安心して遊べるように細心の注意を払って、遊具の保守・点検、砂場の異物除去などをしていますので、一人でも多くの来場をお待ちしております。」とのことでした。

新事業紹介

出張入会説明会
JAうま農業協同組合

改正高年齢者雇用安定法が令和３年４月１日から施行され、定年65歳の義務化、70歳までの定年引上げの努力義務が新設されました。就労を取り巻く状況は人生百年時代を迎え企業は様々な取り組みが必要となっています。その中で、シルバー人材センターへの入会が定年を迎える方たちの選択肢の一つになればと積極的なアプローチを試みました。

JAうま農業協同組合から、令和３年３月末で退職予定の方にシルバー人材センターへの入会を案内したいとのことで、説明会の開催依頼がありました。シルバーにとっては会員拡大の方策としては大変ありがたいお話で、去る1月27日、JAうま本店に出張して退職予定者18名を対象に入会説明会を行いました。

皆さん真剣な眼差しで傾聴していただき、成果はともかくシルバーへの理解度が少し深まったのではないでしょうか。

シルバーCM撮影

愛媛県シルバー人材センターの普及啓発用のテレビCMに、川之江城天守閣で働く会員が出演しました。

数秒の短い動画ですが、愛媛朝日テレビで放送されました。愛媛県シルバーのホームページでいつでも視聴できます。

令和3年5月28日撮影

安全就業スローガン入賞

『身を守る　あなたの一声　命づな!!』

星川　久子様

おめでとうございます

サークル参加者募集中

「興味のある方は、生きがいづくりに」

サークルに入会を希望される方は、シルバーの事務局までお問い合わせください。各サークルでは、自主的に運営していますので、参加申し込みは、各サークルにしていただくこととなります。一般の方も、シルバー入会の上、ご参加ください。

- ○編み物サークル　開催日　毎月第1・第3木曜日
- ○紙バンドサークル　開催日　毎月第2・第4木曜日
- ○小ものづくりサークル　開催日　毎月第4水曜日
- ○習字サークル　開催日　毎月第1・第3火曜日
- ○そば打ちサークル　開催日　毎月第2・第4火曜日
- ○大正琴サークル　開催日　毎月第1・第3金曜日
- ○調理サークル（休止中）　開催日　守数月の第4火曜日
- ○刃物研ぎサークル　開催日　毎月第1・第3火曜日（第2土曜日午前中　JAじゃじゃうま市）
- 開催日　毎月第1土曜日午前中（JAおいでや市）

シリーズ わたしと○○

わたしと山歩き

上柏町　大石　肇次

私は今年で70歳になります。この年になるまでにはご多分にもれずいくつかの病気も経験しました。が、お蔭さまで足腰はいたって丈夫です。元気の源は気晴らしに行う山歩きかもしれません。

私の生まれ育ちは金砂町佐々連で、子供のころから山の中で暮らしていました。子供の遊び場はいつも山の中で、木や草や浅流や風や雲がいつも側にありました。春から夏へ、夏から秋へ、そして秋から冬へと季節ごとに変化する山の景色が目の奥に焼ついています。

成人して社会人となって、仕事の重圧と責任の重さに押しつぶされそうになった時、山を歩き勇気と力をもらいました。目標とする山の登山までは、これから逢える木々の緑の輝きや、谷を吹き抜ける風を想像してワクワクします。登り始めると最初の30分ほどは足が重く感じ息もすぐ上がり、苦しさが先に立ちます。それでも歩き続けているうちにだんだん楽になってきます。1時間もすると、木々の葉の明るさや、風の香りや涼しさを楽しめるようになります。私は、冬山は得意ではありませんが、春、夏、秋と同じ山でも季節によって様々な顔を見せてくれ、飽きることがありません。

山での楽しみの一つに山ご飯があります。簡単なおにぎり弁当でも、渓流の音を聞き、濃木林の風を感じ、山の上で日の光を浴びて食べるとどんなに旨いです。中学1年になる孫が山に興味を持ち始め、「一緒に山登りがしたい」と言います。常々、一人登山で気ままに山を歩いてきたのですが、孫と一緒だとあれこれと気を使います。歩きながら、歩き方や水の飲み方を教えます。木や草や石や花の話をします。小さなことに興味をもって、問いかけてくることに一つ一つ答えていると、山の楽しみがどんどん大きくなるようです。聞かれた問いに自信をもって答えているうちは鼻高々ですが、ちょっと怪しいかなと思ったときは、帰ってから勉強し直します。本を開けるためには、エネルギーが必要ですが最近少々不足がちで、孫のおかげで頑張れています。楽しみや喜びだけで済ませず、正確な知識を伝えるには、ボケてきた頭にはちょっと努力も必要でよい刺激になっています。もう少し大きくなったら、一緒にテント泊登山をしようと、ひそかに考えています。

そして、テント泊といえば「焚火料理」がつきもので、解説書を買ってチャレンジ中です。お盛で山へ行く楽しみが一つ増えました。

最近のことですが「山のボランティアNetwork」に入会しました。今治市に事務局があり、もっぱら石鎚山系の登山道整備を行っているグループです。そのグループの活動に先日参加し、アケボノツツジが満開の岩黒山の登山道の整備をしてきました。足元の悪い登山道の草刈りやその補修は、想像以上に大変で大汗をかき続けましたが気持ちのいい汗でした。気持ちのいい汗をかくことが元気の秘訣です。家族が心配しないよう一人歩きは控え、山歩きのグループと一緒に、まだまだ歩こうと思っています。

短歌と俳句

この欄は、「わたしと○○」と題して趣味や特技等を随想風に記してシリーズで掲載しています。

いくたびのこの世界目に沁みこみし
汚れし魂を洗わむとぞす　真木　宏光

コロナ禍で帰れぬ孫に手渡しで
入学祝いいつ渡せよう　花吹雪すまやの屋根さくらいろ　一人見とれしコロナ禍の春　守谷　逸子

任務終え水先船が離れゆく
伸びる航跡誇らしげに　城庭に次代へ生命繋がんと
老樹のひこばえ無数に伸びる　仙波　惠子

コロナ禍や竹島百合と亟や時　河村　健一

随時投稿募集中

シルバーに入会して

翠波高原と私

峯川町　青木　英子

歳を重ねるにつれて、健康のために身体を動かす仕事をしたいなあと思っていたところ、シルバー人材センターにお勧めしている人から仕事のお誘いがあり入会しました。

仕事は、翠波高原で、春は秋桜を、秋には菜の花の種蒔きをします。又、男性が草刈りした後の片付けや、参道の清掃をしています。

翠波高原は、標高892mの翠波峰を中心とする、眺望の良い広大な高原です。春には菜の花、夏から初秋にかけて秋桜が、一面に咲き誇っているのを見た時、仕事をしていて良かったと思います。

私の職場は、チームワークがとても良くて、働き易く楽しい職場です。空気が澄み切った自然の中で、ストレスもなく、楽しく作業をしています。

笑顔を求めて

金田町　北條　誠

昨年より、何か役に立つ事が出来ればと思いシルバーに入会し、自分磨きのつもりで刃物研ぎサークルに入らせていただきました。指導してくださる先輩は他の仕事も兼ねておられ、声を掛けてくださり色んな体験をさせていただいております。

主な仕事は、文化センター管理業務ですが、空いた時間で、高齢者宅の支援活動、草刈りや清掃、簡単な剪定作業も勉強させてもらっております。

そんな中、シルバーの旅行で知り合った方が、大切にしている裁ち鋏や、剪定鋏を預けてくださり、おまけに「我家の庭で練習してください」とまで言ってくださいました。余りにも申し分け無いので先輩に相談したところ、快く手助けくださり、一緒に家まで行って指導してくださいました。

その折に「みんなの笑顔が見たいから頑張れるんよ」と言われた言葉に、私の求めているものこそだと、気付きました。すばらしい体験の機会を与えていただき、真に「ありがとう」ございます。自然や人の笑顔が広がりゆくことを願い、自分磨きに努めて参りたいと思います。

マンパワーを活かす

土居町　松木　昭

シルバー人材センターに入会したのは昨年4月です。退職して、時間的に余裕ができ、健康のためにもと思いシルバー人材センターに入会しました。

シルバー会員として草刈班に入れてもらい皆と一緒に草刈りをしています。草刈りは、とても多忙です。また夏はすごく暑くて大変な作業ですが、草刈班の皆で助け合いながら草刈りをしています。

今年4月からは草刈班、班長として皆にサポートしてもらいながらですが頑張っています。これからも皆と一緒に助け合いの気持ちを忘れずに、頑張っていきたいと思います。

塩塚峰登山道の草刈り

新宮町　長田　義和

私は友達の紹介でシルバー入会を決めました。今回の仕事は、朝8時に新宮少年自然の家を出発し、塩塚峰から登山道の草刈りをしながら下山する仕事でした。私は、自然の家の職員さんやシルバーの皆様と初めて作業をしました。最初は緊張して会話に入れなかったけれど先輩方が気遣って話しかけてくれたりして気待ちも楽になりました。

それぞれの持ち分をこなし萱の生え茂った道がどんどんきれいになり、登山道の6合目と書かれた所まで来ると作業も一段落し、そこには丸太で作った長椅子があって弁当を広げるには丁度よかった。

約3キロの山道整備は楽ではありませんでしたが、草刈りを通して先輩方と親しくなれ、シルバーの仕事にも積極的な気持ちになれました。

新宮には、塩塚を中心とした登山道が何通りもあります。依頼があれば作業に加わりこれらの道も大切に守っていけたらと思いました。

事務局だより

会員募集!!

○60歳以上の方
○健康で働く意欲のある方
○シルバー人材センターの趣旨に賛同し、年会費1500円を納入していただける方

シルバー人材センターでは、登録会員のお仕事をお聞きしながらお仕事を紹介しています。

まずは、シルバー人材センターにご連絡ください。

お仕事募集!!

剪定や草刈りだけでなく、会社内での軽作業、運転業務など、必要に応じて「請負業務」や「派遣業務」としてお引き受けしております。料金など、ご相談ください。

会員を募集中、詳しくは事務所まで

地区別会員数

地区＼性別	男	女	計
川之江	303	195	498
三島	193	106	299
土居	100	34	134
新宮	30	22	52
計	626	357	983

（令和3年6月末現在）

令和3年度　行事予定

例年、以下の予定で行っている行事について、今年度も新型コロナウイルス感染の心配が拭い去られていない状況ですが、現在のところ実施する予定です。

- 9月　高齢者交通安全教室
- 10月　各地区　清掃奉仕活動
- 10月　シルバーフェスティバル
- 11月　シルバー旅行

詳細は後日ご案内いたします。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策について

シルバー人材センターでは、手指消毒液ボトル、窓口カウンターの透明ビニールカーテン、非接触型体温計を設置しております。

また、事務局職員は自己体調管理の徹底、不要不急の外出や県外との往来、出張の自粛など対応しております。これからは可能な限りワクチン接種の促進にも取り組みます。

賛助会員の入会について

シルバー人材センターでは、賛助会員の拡大強化をすすめています。

発注者の皆様には、賛助会員としてご指導並びにご支援を賜りますようお願いいたします。

（入会申し込み用紙は、事務局に準備しております。年会費一口五千円です。）

《賛助会員のみなさま》（五十音順）令和3年6月現在

- ◎イトマン株式会社
- ◎医療法人　健康会
- ◎宇摩製紙株式会社
- ◎うま農業協同組合
- ◎学校法人RWFグループ
- ◎四国中央医療福祉総合学院
- ◎株式会社イトウ
- ◎株式会社オサキ川之江支店
- ◎株式会社匹国中央市
- ◎株式会社大昌鉄工所
- ◎株式会社トーヨ
- ◎株式会社マイ
- ◎公益財団法人四国中央市スポーツ協会
- ◎公益社団法人愛媛県紙パルプ工業会
- ◎四国中央開発株式会社
- ◎四国中央市土地改良区
- ◎四国中央商工会議所
- ◎社会福祉法人愛美会
- ◎社会福祉法人まこと
- ◎服部製紙株式会社
- ◎福助工業株式会社
- ◎フジグラン川之江
- ◎丸石製紙株式会社
- ◎丸住製紙株式会社
- ◎三木特種製紙株式会社

編集後記

暑さお見舞申し上げます。

昨年からの世界中に感染拡大した新型コロナウイルスに、私達の生活は本当に不安と不便を感じながらの毎日でしたが、ワクチンの接種も進み、少しずつ光が目に見えてきつつあるのではと。

今号は本部においての定時総会、各表彰者の表彰式、会員の就業先でのインタビュー等の紹介をいたしました。

今年の夏もまだまだ暑さが厳しいですが、会員の皆様が元気で安心して働かれ、サークル活動も楽しんで参加できますように心から願うものです。

（石川　記）

発行所
公益社団法人
四国中央市シルバー人材センター
本部事務所
四国中央市金生町下分825-1
TEL(0896)57-0455
西部事務所
TEL(0896)23-5582
土居連絡所
TEL(0896)74-1777
新宮連絡所
TEL(0896)72-3011